

ビバーナムの切り枝生産の台付け位置

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き－その他の花木－整枝・剪定

2 担当者

鈴木安和・宗方宏之・鈴木宏和

3 要旨

ビバーナムは、春から初夏の枝物として需要が多く、露地栽培が可能であるため、本県の中山間地域への導入が有望視されている。しかし、その栽培特性は十分把握されていない。そこで、品種ごとの切り枝生産のための適切な台付け位置を明らかにした。

(1)「スノーボール」の台付け位置は地際30cmが良く、「オノンダガ」は地際50cmが良い。

(2)「スノーボール」は台付け位置が地際80cmと比べて地際30cmで切り枝長が増加した。「オノンダガ」は、地際50cmで切り枝長及び花段数が増加した(表1)。

(3)「スノーボール」では地際80cmで曲がり枝の発生が多くなり、切り枝品質が低下した(図1)。

(4)「オノンダガ」では地際30cm区で欠株が生じた(表2)。

(5)「ピンクビューティー」はいずれの台付け位置でも50cm以上の切り枝を得ることができなかった(表1)

表1 台付け位置による切り枝への影響(2011年)

品種名	台付け位置	切り枝 本数 (本/株)	枝長 (cm)	花段 数 (節)	花房数	
					全数 (個)	第1節目 (個)
スノーボール	地際30cm	14.0 a	88.0 b	1.6 a	2.9 a	1.9 a
	地際50cm	15.5 a	76.9 ab	1.5 a	2.7 a	1.8 a
	地際80cm	13.2 a	73.8 a	2.3 a	4.2 a	1.8 a
オノンダガ	地際30cm	3.5 a	78.4 a	1.6 a	2.8 a	1.7 a
	地際50cm	13.7 a	95.7 b	3.0 b	7.9 b	4.2 b
	地際80cm	13.0 a	87.3 ab	2.8 ab	8.1 b	4.4 b

注1)Tukeyの多重比較法により、同一品種の同符号間に5%水準で有意差なし。

注2)調査枝:枝長が50cm以上で曲がりが少ない枝

注3)「ピンクビューティー」はいずれの台付け位置でも50cm以上の切り枝を得ることができなかった。

表2 欠株率 (2011年)

品種名	試験区	欠株率 (%)
スノーボール	地際30cm	0.0
	地際50cm	0.0
	地際80cm	0.0
オノンダガ	地際30cm	33.3
	地際50cm	0.0
	地際80cm	0.0

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成18年度～22年度
- (2) 研究課題名 中山間地における枝物花木類の安定生産
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成21～23年度センター試験成績概要

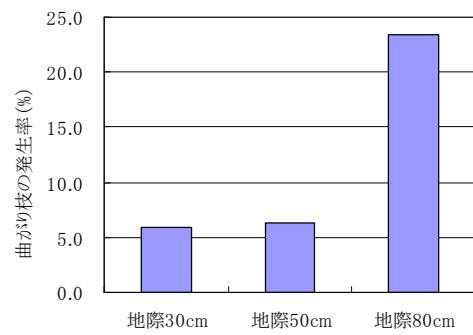


図1 曲がり枝の発生率
(2011年 品種:スノーボール)



図2 ビバーナム「スノーボール」